

自治体	<p>今年度の非核平和施策</p> <p>①財政難やコロナ禍の下、貴自治体における非核・平和施策を実施される上での問題点や工夫点②児童、生徒、住民及び職員への啓発活動や施策内容(平和学習や広島長崎等への研修旅行についてのサポート等)③常設の施設(非核・平和資料館や非核宣言都市モニュメント等)について、また、運営・維持管理等の方法④住民や団体が実施するピースフェスタ、国民平和行進等、草の根運動への後援・施策や対応⑤今年度の予算額(非核平和施設関連)⑥平和首長会議が呼びかけているヒバクシャ国際署名について、首長を含め貴自治体での署名状況、取り組み状況。⑦平和首長会議には、大阪は全市町村が加盟されていますが、日本非核宣言自治体協議会への加盟状況⑧貴自治体における首長や自治体としての非核・平和問題、核兵器禁止条約についての取り組み状況⑨政府に対して核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書が全国の地方議会で採択されています。貴自治体の議会での意見書採択等、今後の取り組み予定。</p>	<p>原爆による被害者関係</p> <p>①被爆者団体名</p> <p>②被爆者援護施策</p>
豊中市	<p>①毎年、伝統芸能館で開催の、講談師による「ひろしま一人語り」公演を WEB 配信に切り替え。人権平和センター豊中での平和月間講演会(8月29日)は、定員 54 人の大集会室から定員 228 人のホールに変更、手指の消毒を行い、前後左右の席を空けて着席するなど、「3密」を避ける配慮。新型コロナウイルス感染拡大のため、豊中市立人権平和センターは当初 4 月 1 日開催予定であったが、5 月 18 日にずれ込み、オープニングセレモニーが実施できず、常設の平和展示室の周知徹底も十分に図れなかった。②展示「戦争と平和の本」終戦の日を迎えるこの時期に、平和への大切さを考える機会として関連本の展示・貸出を実施。8/1(土)～8/30(日)岡町、庄内、東豊中、野畑の各図書館 8/1(土)～8/31(月)高川、千里、箕池の各図書館。参加型展示「平和の木」平和へのメッセージを葉っぱに記入し、平和の木をつくろう。8/8(土)～8/23(日)、8/13(木)～8/24(月)人権平和センター、公民館、図書館等、パネル展「広島原爆」をテーマにしたパネル展。8/5(水)～8/18(火)人権平和センター・箕池、活動紹介パネル展 国境なき医師団の活動から平和について考えるパネル展。8/4(火)～8/17(月)ドキュメンタリー映画ソマリアなどでの同団体の活動を描いたドキュメンタリー映画「アクセス・トゥ・ザ・デンジャーゾーン」を上映。8/6(木)。「この世界の片隅に」映画上映 8/7(金)文化芸術センター。パネル展 大阪大空襲体験画(豊中空襲の様子)を展示し、「わがまち豊中」が戦時中(この)ような状況だったかを知り、現在の平和について考えるパネル展。8/7(金)～8/12(水)青年の家のいぶき。平和写真展 ユニセフによる「紛争下の子どもたち」をテーマにしたパネル展。8/12(水)～8/17(月)パネル展とビデオ上映「地球の秘密～共に生きるということ～」をテーマにしたパネル展とビデオ上映。8/13～8/24 世代間交流事業「平和って～?しあわせをかんして!」創作紙芝居作家・菊地和美さんの平和に関する紙芝居の上演、秋山みきさんによる三線演奏 8/14 人権平和センター豊中老人憩いの家。平和と学びのポスター展 8/8～8/23、DVD 上映会「あした元気になる! 半分のさつまいも～」の上映と関連図書紹介 8/21。森子佳子作品展 紙芝居「その時は 13 才」8/20～8/31。戦後 75 年・被爆 75 年 多世代交流事業「紙芝居『その時は 13 才』の時私は 13 才」上映及び講演会、手作り遊び展 8/22 現在ニューヨーク州在住のウエスト森本富子さんの広島での原爆体験を綴った紙芝居「その時、私は 13 才」の上演と、豊中市原爆被害者の会相談役・伊達昭夫さんの講演、箕池・遊びのプロジェクト(HAP)による手作り遊び。平和祈念講演会「～終戦から75年～豊中が爆撃された日」米軍が日本本土への空襲について詳細にまとめた資料を基にしては市民団体の平和の取り組みへの後援を行っている。⑤予算:2,484 千円⑥平成 28 年(2016 年)・令和元年(2019 年)に市長と副市長に署名していただくとともに、平成 28 年(2016 年)は所属職員へ周知を図り、希望者のみ署名を行った。平成 28 年は日本原水爆被害者団体協議会へ、令和元年はヒバクシャ国際署名事務所へ送付。⑦日本非核宣言自治体協議会:昭和 59 年(1984 年)に加盟。平和首長会議:平成 22 年(2010 年)に加盟⑧平和の大切さと核兵器の廃絶を広く訴え、市民の平和意識の醸成を図るため、昭和 59 年度(1984 年)に定められた 8 月の「平和月間」事業の企画・調整と広報を行うとともに、日本非核宣言自治体協議会および平和首長会議の周知と活動に取り組んでいる。⑨取り組みなし、今後の取り組みは未定</p>	<p>①豊中市原爆被害者の会②高齢被爆者相談等事業、豊中市内小・中学校への伝承活動</p> 
枚方市	<p>①新型コロナウイルス感染症対策(マスク着用、手指消毒、体温測定、大阪コロナ追跡システム等)の実施②8月 平和資料室特別展、11月 戦争遺跡 妙見山煙突見学会、11月 市内の戦争遺跡ウォーキングツアー、3月 枚方市平和の日記念事業(「平和の燈火(あかり)」、「平和メッセージ発信事業」等) ※その他、住民団体や学校単位で希望があれば、戦争遺跡等の見学説明会を随時開催 ③枚方市立中央図書館1階 平和資料室④市長メッセージなどの対応をしている。⑤6,596 千円⑥署名については、市民の自発的、主体的な活動によるものであると考えている。⑦1984 年、非核都市宣言自治体連絡協議会(現在の「日本非核宣言自治体協議会」)に加盟。なお、当市は 1986 年から副会長を務めている。⑧枚方市は日本非核宣言自治体協議会の副会長市であり、総会や研修会へ参加している。また、広島・長崎での平和祈念式典には毎年参列している。(新型コロナウイルス感染症の影響で今年の広島での式典の参列はなし)⑨現在、議会での意見書の採択等はない。</p>	<p>①「枚方市原爆被害者の会」。「枚方市原爆被害者二世の会」</p> <p>②「被爆二世健康管理表」の発行</p>
寝屋川市	<p>①「平和と人権を考える市民のつどい」のうち、8月1日開催の企画(映画上映会等は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、当初の予定を延期したうえで、12月5日(土)の人権を考える市民のつどいと同時開催で調整していたが、感染拡大防止のため、中止。恒久平和祈念の式典については、例年市内の公園にて開催。新型コロナウイルス感染症の拡大と記録的猛暑が重なったことから、感染及び熱中症防止のため中止。平和のバラの苗木配布は、例年市民会館(屋内)で実施しているが、感染拡大防止の観点から、市役所本庁ピロティ(屋外)に会場を変更、来場者の過密化防止のため、配布時間を細分化し、来場人数制限を設けるなどの対策を講じています。②平和と人権を考える市民のつどい 8月1日(土) ※延期の中止寝屋川市市民会館大ホール・市長、市議会議長の挨拶・平和に関する映画上映会「この世界の(さらにいくつもの)片隅に」平和のバラ写真展・戦中食「すいとん」試食コーナー 8月4日(火) ※中止 初本町公園内 平和の塔前・恒久平和祈念の式典 市民の皆から平和の折衝を募集し、寄せられた折衝を恒久平和を願う千羽鶴にし、平和の塔に捧げる。平和のバラの苗木配布 12月5日(土) ※実施予定 寝屋川市役所本庁ピロティ平和のバラを育てることにより幸福と恒久平和を再認識するために、希望する市民に抽選でバラの苗木を配布。黙祷(庁内放送)寝屋川市民等来場者に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙祷の呼びかけ③常設の資料館は未設置ですが、初本町公園に平和の塔のモニュメントが設置されています。④市長の祝電・メッセージの対応。平和行進時に寝屋川市役所を経由する場合はお茶の接待等を実施。⑤令和2年度の非核・平和に関する予算額 1,002 千円⑥現在どころ取り組みしていない。⑦日本非核宣言自治体協議会:平成 17 年5月10日加盟⑧現在どころ取り組みしていない。⑨現在どころ取り組み予定なし。</p>	<p>①寝屋川市原爆被害者の会(広長友の会)</p> <p>②健康診断(年2回)</p>
交野市	<p>①問題点:新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で平和・非核の重要性等について市民等に周知できないという問題が生じる。工夫:啓発事業について、三密とならないよう、施設ロビーにてパネル展を開催予定。②交野市平和祈念のつどい映画会(例年8月に実施)を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大により中止。代替として令和3年1月に関係団体と協力し、人権と平和に関するパネル展を開催予定。平和の鐘打鐘(市内寺院は、協力により8月6日、8月9日に実施)、ピースおおさかの活用について各学校へ情報提供、各小・中学校に「人権作文」を募集。小学校においては、修学旅行で広島へ訪れ平和学習を実施。加えて、事前に「語り部」の方からお話を聞く、事後に学習発表会を行う等さらに学習を深めている。中学校においては、総合的な学習の時間等で平和学習を実施。③戦争遺物の常設展示をしている。また平和のモニュメントについても敷地内に設置している。(交野市向井田 2-5-1 いきいきランド内)モニュメント等の維持管理については、施設管理所管のもとで実施④市長メッセージや後援意義、国民平和行進では会場提供等を実施⑤304,000 円⑥取り組みしていない⑦非加盟⑧本市においては、平和首長会議の主旨に賛同加盟しているところであり、非核・平和問題、核兵器禁止条約についての取り組みについては、恒久的な世界平和を実現していくなかで大変重要なことと考えており、関係団体等と連携し平和施策としても平和の尊さを後世に伝えるため交野市平和祈念のつどい映画界や「平和の鐘」打鐘といった事業を実施している。⑨取り組みしていない</p>	<p>①令和2年3月31日付をもって交野市原爆被害者の会は、解散した。</p> <p>②なし</p>
守口市	<p>①イベント縮小・消毒、マスクの徹底、距離の確保②黙とうの周知③なし④メッセージ対応⑤40,000円⑥取り組みなし⑦未加盟⑧非核平和事業「平和のつどい」実施、核実験抗議文発出⑨予定なし</p>	<p>①守口市原爆被害者の会②なし</p>
門真市	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響により、各教科の授業時数が逼迫する中で、平和学習等に割り当てる時間の確保が難しい。また、全小・中学校で宿泊を伴う行事が中止となったため、実地学習等が出来なかった。ただし、修学旅行の代替として、校外学習でピースおおさかを活用して平和学習を行った学校は複数あった。コロナ禍のため、多くの市民を集める啓発事業ではなく実物やパネル等を展示し、自由にご覧いただける手法で実施した。受講対象者を限定し、手洗い・消毒、換気などの対策を行ったうえで研修を実施した。②平和学習として、「社会科」の授業における戦争に関する学習を行っている。また、各校において可能な範囲で「総合的な学習の時間」「特別の教科・道徳」等における国際理解・多文化共生教育を進めている。戦時中の日用品などの実物展示と平和に関するパネル展示を実施。施策等計画的に実施していないもの、令和2年度は人権問題研修の一つとして、新規採用職員を対象に戦争をテーマとした研修を実施した。③なし④今年度は団体が実施するピースフェスタが開催中止となり後援会の申請はなし。国民平和行進等の市長メッセージ送付等。⑤11,000 円⑥署名への対応はしていない⑦加盟していない⑧上記②の啓発活動の他、8月に懸垂幕の掲示、原爆死没者の慰霊及び平和祈念の黙とうの市広報誌で周知啓発を実施した。核兵器禁止条約に関しては、取り組みの予定なし。⑨取り組み(予定)なし</p>	<p>①門真市原爆被害者の会②平成 24 年度より休会のため助成なし</p>
四條畷市	<p>①問題点・規模の縮小を余儀なくされた。工夫した点・映画会の際、座席間隔を開けるため入場数の制限をして換気時間を設けた。・入館時のアルコール消毒と検温、マスク着用をお願いした。・クラスター発生時に備え、申込時に参加者の名前と連絡先を徴取した。②8月8日「平和・人権展」語りつこう平和の大切さ。平和・人権ポスター展(ポスター展のみ16日まで行っ)映画会「この世界の(さらにいくつもの)片隅に」8月9日、8月15日・黙とう呼びかけ(庁内電子掲示板)職員に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙とうの呼びかけを行った。本年は両日とも休日のため、市民向けの庁内放送は実施なし。③モニュメントは無いが非核・平和都市宣言の文字プレートはあり④各団体が実施する平和行進等の受け入れ、集会参加。市長メッセージ。⑤平和事務211,000円⑥取り組みなし⑦未加盟⑧取り組みなし⑨取り組みなし</p>	<p>①活動団体なし</p> <p>②なし</p>
大東市	<p>①各非核・平和事業を行う際にも検温・消毒を実施しコロナ感染拡大防止に努めた。②折り鶴コーナーの設置・千羽鶴の作成・広報誌や防災行政無線を使って、広島・長崎の原爆投下日、終戦記念日の正午に黙祷・平和パネル展③大東市立人権教育啓発センターに非核・平和資料等を常設④広援メッセージを送付⑤653(千円)⑥今年度実績無し⑦加盟。⑧核保有国(推定含む)が使用実験等を行った際に、抗議文を送付。非核平和都市宣言を掲げている。非核平和事業を実施。⑨今年度実績無し</p>	<p>①大東市原爆被害者の会</p> <p>②団体補助金</p>